



114  
A 798  
20

極秘

第一種  
陸軍 權第一九號ノ一

明治三十一年九月十九日馬尼刺發

陸軍砲兵大尉時澤右一第六十一報告

一 香港通信に見ヘタル「フレゴン」アイラワニ戦闘艦

ノ馬尼刺ニ来ラントスルハ事實ナルモノ、如シ

米ノ某海軍士官ノ語ル所ニ拠レハ尚ホ此他ニ「ミン

ニエアポリス」トアイラワニ二艦モ来ルヘト云フ

ニ米人ノ所為ニシテ本群島ヲ永久ニ占領セントスルノ

兆候ト認タヘキモノヲ目撃シ得ス但シ左ノ一項ハ

多少長時間駐屯スルノ證ト見ルヲ得ヘキ歟

ヅク製急造寢臺(×字形ノ畳編シ得ルキ

ニ個ノ木脚ヲ有ス)ヲ續々本國ヨリ輸送シ来リ

目下各兵負ニ分配中ナリ此寢臺尚ホ倉庫中

265

5-21



三、米軍ハ西班牙ノ公用書類一切ヲ西班牙人自ラ  
 保管シ得ルヲ許可セリ之レカ為メ米人ニ占領  
 セシタル各官衙ノ家屋ヨリ夥多ノ書類圖画ヲ  
 西班牙馬尼刺總督ノ現住家屋ニ運搬中ナリ  
 以家屋ハ馬尼刺城内ニ在リテ先達米軍總督  
 府(前キノ馬尼刺政廳)ヨリ分離セリ  
 四、目下西班牙兵ノ捕虜ハ左ノ時間外ハ馬尼刺城外  
 ニ出ルヲ禁セラレタリ  
 午前 六時ヨリ八時迄  
 午後 五時ヨリ七時迄  
 此時間ハ水浴及洗濯ノ為メトス  
 捕虜ノ散步ハ從來黙許自由ノ姿ナリシカ過日

反徒ト爭鬪ヲ醸シ數人ノ反徒ヲ死傷セシメシヨリ漸  
 ク嚴重トナレリ  
 捕虜ノ日糧ハ米軍ヨリ之ヲ給ス給養不良ノ為メハ  
 非サレケレトモ運動住居其他衛生上不適當ノ  
 件アルモノト見ヘ顔色憔悴路上ニ踰躑タルモノ  
 隨分多シ中ニハ西兵ニシテ履ヲ穿タス帽ヲ冠ラサ  
 ルモノアリ  
 捕虜兵ノ總數ハ壹萬三千三百八十五ナリ但シ八月  
 十五日ノ調ニハ壹萬千七百七十五ナリシカ一千六百十  
 名ハ其後増加セシモノト見ユ  
 將校ハ俸給ハ勿論給セラレス一身ハ自由ナリト雖モ  
 一般頗ル困窮シ居レリ  
 五、反徒ハ「バタンガ」地方ニ於テ武器ヲ陸揚シタリトノ

風説盛なり地形上ヨリ之ヲ推ス、虚傳ナラン  
六、及徒ノ會議々長ハ「パテル」ニシテ副議長ハ「ベン  
ドレガルト」ナリ

七、議院ノ景況ハ追テ委細報告ス  
八、西班牙ノ前馬尼刺總督「ハウデ子ス」氏ヨリ全島

旅行ノ承認ヲ得タリ目下不必要ナレトモ「他日  
用意ノ為メ」ハ彼レノ氣色ヲ見シ為メニ訪問セリ  
同氏曰ク米ハ多分群島ヲ占領ス「アギナルド」ノ承  
又曰ク貴下ノ旅行ニ就テハ貴下ハ「アギナルド」ノ承  
認ヲ受クルヲ要ス余カ與ヘタル此承認ハ僅カニ「ビサ  
ヤ」群島ニ効カアルノミ云々言ヒ終テ悵然タリ小  
官モ其情ヲ汲ミ私カニ暗涙ヲ吞ミタリ  
同氏ハ小官ニ對スル氣色ハ大ニ良シ依然明石少佐

在島當時ノ如ク日西兩國親交ノ必要ナルヲロシ  
居レリ今日ノ境遇此語ヲ出ス一語一句血ヲ吐クノ思  
ヲ為セシヤ必セリ尚ホ小官ニ告テ曰ク再後度々訪  
問セラん可シ云々

去月十三日ノ戦ニ就キ西班牙軍ノ側ヲ研究シ  
度キ「アル」旨ヲ告クルヤ同氏ハ喜ンテ之ヲ受ケ「ヤ  
バレー」氏ニ斡旋ノ勞ヲ採ルヘキ「アギナルド」命セラレタリ  
但シ「ヤバレー」氏ハ小官ノ顔貌ヲ記憶セス

九、西班牙兵ノ捕虜トナリテ及徒ノ本營ニ使役サレ  
ツ「アギナルド」ノ食膳中ニ毒ヲ入レ為メニ「アギナルド」  
ノコック一名死シタリ「アギナルド」ハ幸ニ免レタリ  
員ハ之ヲ祝スル為メニ委負ヲ選々杯事々シク騷  
キ立テタリ

追加

- 一 第五項武器云々ハ事實ナリ「マキシム」砲数内「レミン  
グトシ」ニ千挺許リナルモノ、如シ
- 一 反徒ハ「サンホアソデルモンテ」及「シレガロン」「ラスピニヤス」  
ニ強大ナル防禦工事築設中ナリ
- 一 反徒ハ降リシ「ロピニヤス」少将ハ本國ニ於テ軍法會議  
ニ召喚サルヘキ筈ナリ (終)

陸軍砲兵大尉時澤右一第六十二報告(九月  
廿日馬尼刺發)ハ須ク掲載ヲ見合ス

一 第五項 武器の製造  
グロブニエキ 擬許リナレモ、如シ  
一 反復ハ、カシホアシデルモンター及、シレゴロと、カシホニヤと  
一 陸軍大臣防衛工事、築設中  
一 反復、防衛リシ、ロニヤと、中、将、本國、於テ、軍法會議  
一 石炭十九、キヤク、ナリ (終)

第五項(陸軍)ハ、既、部、長、ト、見、合、ス

對、軍、部、長、大、陸、軍、部、長、於、一、九、一、六、十、二、特、許、(八、八)

